

2021年3月期・第2四半期

決算の概要

2020年4月～9月



日鉄物産
NIPPON STEEL TRADING

目次

1. 連結損益計算書

2. 連結財政状態

3. 連結キャッシュフロー

4. セグメント別 連結業績

5. 連結業績予想 (2020年度通期予想)

6. セグメント別 上期実績／下期予想 対比

7. 経営環境変化への当社の対応

連結損益計算書

(億円)

	19.9期	20.9期	増減額	増減率
売上高	12,644	9,643	$\Delta 3,001$	$\Delta 24\%$
営業利益	174	82	$\Delta 91$	$\Delta 53\%$
経常利益率	1.4%	1.0%		
経常利益	174	95	$\Delta 78$	$\Delta 45\%$
(内持分法損益)	(11)	(10)	$(\Delta 0)$	
特別損益	$\Delta 1$	$\Delta 12$	$\Delta 10$	
税前利益	173	83	$\Delta 89$	$\Delta 52\%$
親会社株主に帰属する 当期純利益	113	52	$\Delta 61$	$\Delta 54\%$

1株当たり純利益	351.45	161.42	$\Delta 190.03$ (円)
----------	--------	--------	---------------------

連結財政状態

(億円)

	20.3期末	20.9期末	増減額
現預金	260	654	+394
営業債権	5,558	4,798	△ 760
その他流動資産	1,377	1,378	+1
固定資産	1,381	1,485	+103
総資産	8,577	8,316	△ 261
営業債務	2,573	2,271	△ 302
有利子負債	3,001	2,942	△ 59
その他負債	452	462	+9
総負債	6,028	5,676	△ 351
純資産	2,548	2,639	+90
自己資本	2,364	2,416	+52

自己資本比率	27.6%	29.1%	
NET DER	1.2倍	0.9倍	
1株当たり純資産	7,329.73	7,492.16	+162.43 (円)

連結キャッシュフロー

(億円)

		19.9期	20.9期
	営業活動によるCF	+183	+568 [※]
	投資活動によるCF	△ 31	△ 63
	フリーCF	+151	+505
	財務活動によるCF	△ 157	△ 109
	現金等の増減額	△ 8	+391

※・運転資本増減 +510
 ・当期利益(税前) +83
 ・償却費, 金利, 税他 △25

セグメント別 連結業績

(億円)

	19.9期		20.9期		増減額 (増減率)		
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	
鉄 鋼	10,827	120	8,174	74	$\Delta 2,653$ ($\Delta 24.5\%$)	$\Delta 46$ ($\Delta 38.2\%$)	・ 鋼材販売数量の大幅な減少に加え、国内外の関係会社の損益が悪化
産機・インフラ	439	17	350	7	$\Delta 89$ ($\Delta 20.3\%$)	$\Delta 9$ ($\Delta 55.6\%$)	・ 自動車部品需要の低迷等
織 維	648	21	470	3	$\Delta 177$ ($\Delta 27.4\%$)	$\Delta 18$ ($\Delta 84.5\%$)	・ 緊急事態宣言下での百貨店等の店舗休業もあり、販売環境が大幅に悪化
食 糧	723	13	646	9	$\Delta 77$ ($\Delta 10.7\%$)	$\Delta 3$ ($\Delta 29.2\%$)	・ 外食需要落ち込み等による食肉販売減
合 計	12,644	174	9,643	95	$\Delta 3,001$ ($\Delta 23.7\%$)	$\Delta 78$ ($\Delta 45.2\%$)	

連結業績予想 (2020年度通期予想)

※業績予想及び配当予想の修正をしております。(億円)

	上期実績		下期予想		21.3期 通期予想	
	(前回予想)		(前回予想)		(前回予想)	
売上高	(9,500)	9,643	(10,500)	11,357	(20,000)	21,000
鉄鋼	(60)	74	(92)	107	(152)	182
産機・インフラ	(5)	7	(8)	7	(13)	15
繊維	(△5)	3	(17)	16	(12)	20
食糧	(10)	9	(13)	13	(23)	23
経常利益	(70)	95	(130)	145	(200)	240
親会社株主に帰属する 当期純利益	(35)	52	(65)	78	(100)	130
配当	中間	50円	期末	80円	通期	130円
	(前回予想)	(35円)	(前回予想)	(65円)	(前回予想)	(100円)

・上期：売上高（数量等）が想定を上回って推移。
 下期：足元の環境を踏まえ、下期見通しを上方修正。

・厳しい販売環境が継続しているものの、
 上期は短納期需要の取込等により改善。

業績見通し及び配当予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績及び配当は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

セグメント別 上期実績／下期予想 対比

(億円)

	上期実績		下期予想		上/下 増減	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
鉄 鋼	8,174	74	9,625	107	+1,451	+33
産機・インフラ	350	7	449	7	+99	0
織 維	470	3	529	16	+59	+13
食 糧	646	9	753	13	+107	+4
合 計	9,643	95	11,357	145	+1,714	+50

・新型コロナ影響は上期に対して下期は改善するものと想定。
鋼材需要も上期→下期では一定の回復を見込む。

・上期は緊急事態宣言下での百貨店等の店舗休業影響大。
下期も厳しい販売環境の継続が見込まれるが、一部需要の戻り等により、
上期よりは改善するものと想定。

・外食需要の落ち込みはあるが、
比較的堅調な中食、内食向け拡販に注力し、上期→下期で増益を目指す。

業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績及び配当は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

経営環境変化への当社の対応

1. 感染拡大防止と事業活動継続の両立

- ・各種感染防止策の徹底（在宅勤務の積極的活用、時差出勤、システムの社外アクセス、出張・会食等の制限等）
- ・緊急コスト削減（旅費他一般管理費）

2. 事業基盤強化策の実行

- ・事業構造改革施策の実行（国内外コイルセンター、縫製拠点の統廃合等）
- ・生産性の抜本的改善策の実行（業務プロセスの徹底した見直しとデジタルツールの最大活用等）

3. 成長に向けた事業戦略実行

- ①販売数量・売上拡大に向けた戦略推進
 - ・トレーディング業務の刷新（社長直轄組織新設によりDX化を推進）
 - ・SDGs商品の積極的提案（エコマテリアル、電動化・軽量化商品、リサイクル商材拡販等）
 - ・バリューチェーンのグローバル化・インサイダー化の更なる拡充
- ②新規事業・新需要分野開拓
（高機能・マルチマテリアル商材、サステイナブル繊維素材、植物性代替肉等のビジネス展開）
- ③M&A、アライアンスの積極的検討